

## 学校賞コメント

### ● 関西創価高等学校（大阪府）

昨年まで関西創価中学校として3年間コンクールに応募してきましたが、本年度は、中学校とあわせて、高校として初めてコンクールに応募しました。中高一貫校のため、4年目の応募となった生徒も数多くいますが、年を重ねるごとに、より深く世界に目を向けられるようになってきているように感じます。本校では、スーパーグローバルハイスクールのプログラムの一環として、「環境・開発・人権・平和」を探究するGRITという授業を行っています。そして、「誰もおきざりにしない」「他国の不幸の上に、自国の幸福を築くことはしない」という信条を、日々の生活の中でいかに実践するか、また、将来、そのような心をもった世界市民として活躍することを目指しています。その意味で、読書を通じて、世界を知り、自分たちに何ができるかを問い続ける機会をいただけるコンクールは大変貴重な機会であり、これからも参加していきたいと考えています。

### ● 広島女学院高等学校（広島県）

プラン・インターナショナル読書感想文コンクールの課題図書を高校2年生の夏休み課題と決めて、3年になります。今年も女子高校生にぜひ読ませたいよい本を選定していただき、国語科教員としてまた高2担任として、感謝しています。その上学校賞をいただき、ありがとうございます。課題の本を通して生徒に見えるのは、自分も含めたすべての女性にとっての問題であり、苦しみであり、怒りであり、また生きる喜び、そして人間としての尊厳であるはずです。このコンクールに参加することが、生徒達が自分の生き方について考えを巡らすよいきっかけになっていると思います。これからの課題図書にも期待し、プラン・インターナショナルの活動に期待しています。

### ● 弥富市立弥富北中学校（愛知県）

学校賞をいただきまして、ありがとうございます。本校の3年生は、3年間、総合的な学習の時間に国際理解教育を進めてきました。読書感想文コンクールに3度参加させていただき、本を通して世界を知り、時には世界の現状に心を痛め、時には人のもつ力に感動し、地球市民としての自覚が育ってきたように感じます。日々、ニュースや新聞で取り上げられている世界の課題に、自然と目が向く生徒が増えました。修学旅行では、SDGsに関する取組をされている企業や団体を訪問し、自分も将来国際貢献にかかわる仕事に就きたいと考える生徒が多くいました。中学生の自分たちにも、SDGs達成のためにできることがあるはずと募金や古本集めの活動を続けています。生徒達にとって、本校での学習は終わりとなりますが、読書感想文や総合的な学習の時間の学びを胸に、世界にはばたいてほしいと思います。